

境時代ニ入社セルモノニテ入社之際ニ社ノ取政關係ヨリ提
 束社長ノ年俸六千圓ナリシヲ一萬圓トナシ其ノ内ヨリ五千円
 ノ内溢ニ大河内ニ支給シ表面ヲ糊塗シ來リタル等ノ術業ヲ今
 野支配人ニ於テ弄シタルモノ経緯アリ之ヲ知レル會社内課長
 級ノ多クハ今野支配人ニ及成ヲ抱キ今回ノ公休手當全廢同類
 ニ付キテモ從業員ニ同情ヲ寄セ居ルカ如キ狀況ニアリ
 四游來ノ市測

前項會社内却ノ事情ヲ知悉セル從業員ハ今野支配人ニ對スル
 及成ヲ高メツ、アルヲ以テ本嘆願運動ハ會社側ノ態度如何ニ
 依ツテハ罷免等ノ事ニ依ツルヤモ測リ難キ狀況ニアルヲ以
 テ敬懇銀行注視中
 右及中(通)兼假也

下別記
 嘆願書

昭和五年五月十日より多量施設相次假業務員休業制及公休日給金全廢
 等如何ニ為界ノ不況ニシテ會社経営ノ困難ノ理由トスル元客年十二月一日達已
 第七五期ニ依リ諸手當ノ減收ヨリ相當ノ減收ニ當テ候者今回ノ規定ニ於テ
 ハ前同ノ減收ニ及テ減收ニテ到底秋ノ從業員ノ生活安定ヲ欲シモノ有之候
 就テハ會社ノ苦境ニアルヲ吾々元令之ヲ承知致居候ハ其何等他ニヨルハキ
 道ヲ御考慮ノ上吾々從業員ノ事情ヲ御覽察是非共左記項目御承認ノ上
 施相次假全從業員一同ヨリ嘆願仕ル次第ニ御座候
 記

- (一) 全從業員ニ對シ左ノ割合ニテ支給シ値上スルコト
- 一 給料月額 三十円以下ノモノ 三割五分
- 二 同上 四十五円以下ノモノ 三 割
- 三 同上 六十円以下ノモノ 二割五分